

# 学校だより

在マレーシア日本国大使館附属・  
クアラルンプール日本人会日本人学校  
第10号(平成28年1月12日発行)  
URL : <http://www.jskl.edu.my>

校長 宮谷 真一郎

あけまして おめでとうございます

元旦と同時に打ち上げられた「HAPPY NEW YEAR」の花火。皆さんはどのような思いでご覧になりましたか。昨年の失敗を振り返りましたか。それとも、今年の成功を夢見ましたか。全てを華へと昇華させる打ち上げに、これからやってくる新たな始まりを予感したことと思います。いずれにしても、今年一年が皆さんにとって幸せな一年になることをお祈りしております。

さて、平成28年は、JSKLにとって記念すべき年になります。創立50周年を迎えます。様々な方々に、確かな御支援をいただき、世界で最も整った教育環境を創り、支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。

ところで、50年ということですが、創立当時、どんな世の中だったのでしょうか。保護者の皆さんの多くの方は、歴史の学習を通してしか知らないことでしょうか。かく言う私自身、既に生まれていましたが記憶にはもちろんなく、同様に勉強でしか知らない世代です。因みに日本では、3月に総人口が1億人を突破し、6月にはビートルズが3日間武道館コンサートを開いたようです。また、あの「ウルトラシリーズ」と「巨人の星」も始まった年だったようです。知って驚いたことには、落語家が智恵を競い合う「笑点」が始まった年でもあったようです。

50年前、ここ東南アジアは悲しい悲しい時代を送っていたようです。それは、1960年から始まった「ベトナム戦争」が激化の一途をたどり、既に泥沼化していたからです。マラリヤ蚊の撲滅と称した「枯葉剤」という化学兵器が散布され、蚊はおろか自然の恩恵を受けて生きている全てのものの命、夢、希望を奪っていたようです。

「なぜ、あのような悲惨な戦争が起き、尊い価値あるものが多く奪われていったのか」については、各方面の専門家の方々にご意見を委ねます。ただ思うことは「戦争にかかわったベトナムの人々全てが、幸せに送れるはずの人生を奪われた。しかし、今、ベトナムの人々は平穏を取り戻し、穏やかで、豊かな生活を営みつつある」ということです。かのベトナム戦争が終結して、まだ40年しか経っていません。それなのに、です。現在を幸せに、それが当たり前のこととして生きている私は襟を正し、ベトナムの人々の逞しさと柔らかさから多くのことを学ばせていただきたいと思えます。

人は今が幸せだと、ついついそれまでの苦勞を忘れてしまうようです。「忘れるから生きていける」とは蓋し明言です。しかしながら、歴史を紐解き、事実を確認し、同じ過ちを繰り返さないこと、「歴史に学ぶ」ことも人には大切な営みだと思えます。

東南アジアの雄であるここマレーシアに、その首都クアラルンプールにおいて、先人の弛まぬ努力の恩恵に預かり幸せに暮らせる我々は、一体何ができるのでしょうか。どのような恩送りを日本人の後輩達に、世界の人々にできるのでしょうか。

いよいよ、創立50周年の年を迎えました。50年を振り返り、今後50年のデザインを皆さんと行いたいと思えます。日本人学校で学ぶ子どもたちが、真に強い人間となるべく育ち、豊かに世界貢献できる大人になることを夢見る今年の幕開けです。

